公共施設カルテ・施設評価の見方

Ⅰ　対象施設

この公共施設カルテ・施設評価は、公共施設等マネジメント計画で「公共施設」として位置付けている329施設を対象としています。具体的な施設は、施設一覧を御覧ください。

Ⅱ　注意事項

■ データ基準日は、令和６年３月31日時点です。
（※利用実績のうち、児童数や生徒数等については、令和５年４月１日を基準日としています。）

■ 項目により四捨五入している数値があります。

Ⅲ　各項目の説明

項目名	説　明
施設名称	施設の名称を表示。
施設番号	施設を識別するための番号を表示。
基準年度	作成の基準となる年度を表示。

公共施設カルテ

１　施設概要

項目名		説　明
施設所在地		施設の所在地を表示。
所管課		施設を所管している課名を表示。 ※現在の所管課と異なる場合があります
分類		施設の用途別の分類を表示。
運営及びその他	運営形態	次の３つに分類しています。 ①直営：市が直接運営している場合 ②指定管理：指定管理者が運営している場合 ③貸付：施設全体を民間事業者等に貸し付けている場合
	複合施設	次の２つに分類しています。 ①単独：１つの設置目的や用途で構成される場合 ②複合：複数の設置目的や用途で構成される場合

項目名		説　明
土地	土地全体	―
	面積計	土地の総敷地面積を表示。
	所有形態	次の５つに分類しています。 「所有」、「一部所有」、「借上」、「共有」、「その他」
	用途地域	都市計画法上の用途地域を表示。市街化調整区域は「指定なし」と表示。
	建ぺい率	建ぺい率を表示。
	容積率	容積率を表示。
建物 （建物全体）	建物数	施設を構成する建物数です。建物には倉庫や自転車置場等の台帳に記載されているものを含みます。
	施設面積計	施設の床面積の合計を表示。
	所有形態	次の４つに分類しています。 「所有」、「借上」、「区分所有」、「その他」
建物 （主たる建物）	棟用途	使用用途を表示。
	構造種別	次の５つに分類しています。 「鉄骨鉄筋コンクリート造」、「鉄筋コンクリート造」、「鉄骨造」、「木造」、「その他」
	階数	階数（地上・地下）を表示。
	建築年度	建築された年度を表示。
	経過年数	建築時からの経過年数を表示。
駐車場		施設利用者が駐車できる駐車場の有無を表示。また、車椅子利用者用については、有無を表示。

2　利用実績

項目名	説　明
データ件名	施設の利用実績を２項目まで表示。データ件名は施設により異なります。なお、主に事務所等として使用する施設は、利用実績を「－」で表示。

3　収入

項目名	説　明
利用料金等	施設の使用料や手数料などの収入がある場合、年間収入の総額を表示。収入には、施設の維持管理や修繕、新増設に充当する負担金や国庫支出金等を含みます。（金額は千円未満切捨て）

4　経費内訳

項目名	説　明
維持管理費	施設の運営及び維持管理にかかる次の対象費目の合計です。指定管理料は除きます。（金額は千円未満切捨て） 【対象費目】 光熱水費、修繕料、保険料、委託料、使用料及び賃借料、工事請負費、公有財産購入費　　※人件費は含みません。
指定管理料	指定管理料の総額（人件費含む）を表示。（金額は千円未満切捨て）
運営費合計	維持管理費及び指定管理料の合計額を表示。
減価償却費	定額法により、毎年一定金額を償却することとして算定した金額を表示。
総経費	維持管理費、事業運営費及び減価償却費の合計額を表示。

5　単位当たりデータ比較

項目名	説　明
利用１件あたり運営費	利用１件あたりの運営費を表示。
利用１件あたり総経費	利用１件あたりの総経費を表示。
利用１件あたり利用料金等	利用１件あたりの収入（利用料金等）を表示。
利用料金等/運営費	運営費に対する収入（利用料金等）の割合を表示。
利用料金等/総経費	総経費に対する収入（利用料金等）の割合を表示。
建物１㎡あたり運営費	建物１㎡あたりの運営費を表示。
建物１㎡あたり総経費	建物１㎡あたりの総経費を表示。

6　簿価に関する情報

項目名	説　明
建物取得原価	建物の取得に要した原価を表示。ただし、昭和59年度以前に取得したものや取得原価が不明なものについては、再調達価額を表示。改修工事等を行った建物については、改修等に伴う費用も取得原価に加算しています。
建物簿価	減価償却を加味した台帳上の現在価額を表示。耐用年数が経過し、減価償却が終了したものは、「１」と表示しています（備忘価額）。

施設評価

1　品質評価

項目名		説　明			
建物名称		施設を構成する各建物の名称を表示。			
耐震性		耐震性がある建物には「有」、耐震性を満たさない建物には「無」、昭和５６年以前に建築された建物で春日井市耐震改修促進計画における耐震化の対象外建物には「対象外」を表示。			
現状の評価		各建物の現状を、次のとおりＡ～Ｄまでの４段階で表示。 ※公共施設個別施設計画（令和２年３月策定 令和７年3月一部改訂）の対象施設、公営住宅以外は、評価対象外として全項目「－」と表示。			
	評価項目	A	B	C	D
	屋根・屋上、外壁	おおむね良好である。	部分的に劣化している。	広範囲に劣化している。	著しく劣化している。
	空調機	経過年数が10年未満	経過年数が10年以上～15年未満	経過年数が15年以上	経過年数に関わらず、著しく劣化している。
	内装、排水管、電気設備	経過年数が20年未満	経過年数が20年以上～40年未満	経過年数が40年以上	経過年数に関わらず、著しく劣化している。

2　機能・コスト評価

項目名	説　明
グラフ（延べ利用者数）	延べ利用者数の経年変化をグラフで表示。
グラフ（収入）	収入の経年変化をグラフで表示。
グラフ（運営費）	運営費の経年変化をグラフで表示。
グラフ（総経費）	総経費の経年変化をグラフで表示。